

No	項 目	対 象	所管課 （案）	国の 目標値	3次計画策定時		出典（調査名等）
					現状値	調査年度	
1	地域等で共食したいと思う人が共食する割合	20歳以上の 市民	健康支援課	70%以上	30.8%	H28年度	市民の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（健康企画課）
2	中学における学校給食の実施率	市内 中学校	保健体育課	90%以上	100%	H29年度	保健体育課
3	学校給食における国産食材を使用する割合	市内 小中学校	保健体育課	80%以上	—	—	—
4	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから <u>適正体重の維持や減塩</u> に気をつけた食生活を実施している割合	20歳以上の 市民	健康支援課	75%以上	73.3%	H29年度	食に関する実態調査 （健康支援課）
4-A	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから <u>適正体重の維持</u> に気をつけた食生活を実施している割合	20歳以上の 市民	健康支援課	—	65.9%		
4-B	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから <u>減塩</u> に気をつけた食生活を実施している割合	20歳以上の 市民	健康支援課	—	58.8%		
5	農林漁業体験を経験した世帯の割合	20～69歳 の市民	農政課	40%以上	52.8%		
6	食品ロス削減のために何らかの行動をしている割合	15歳以上の 市民	廃棄物対策課	80%以上	66.0%		
7	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し伝えている割合	20歳以上の 市民	健康支援課 保健体育課 幼保運営課	50%以上	31.6%		
8	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している若い世代の割合	20～39歳 の市民	健康支援課 保健体育課 幼保運営課	60%以上	55.3%	H29年度	食に関する実態調査 （健康支援課）
9	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する割合	20歳以上の 市民	生活衛生課	80%以上	81.2%		
10	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合	20～39歳 の市民	生活衛生課	65%以上	75.4%		

＜第3次計画の数値目標設定に向けて検討事項＞

上記の国の第3次食育推進基本計画に係る新しい数値目標については、調査結果が国の目標値を上回っているものもあった。

また、国から示された設問がわかりにくく主観的であることから、調査結果が安定しにくいことが考えられる為、数値目標としての設定はせず、取り組みとして行っていく。

